

第56回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 平成30年10月15日(月) 18時00分から 20時30分

・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム

・出席委員

| | | | |
|------|-----------|-------|-----------|
| (会長) | 関 根 雅 彦 | (副会長) | 中 野 陽 一 |
| | 有 部 正 治 | | 吉 本 信 子 |
| | 新 谷 弘 昌 | | 櫻 井 菜 穂 子 |
| | 安 井 美 智 | | 田 辺 亜 由 美 |
| | 角 野 い づ み | | 阿 部 正 和 |
| | 森 田 律 子 | | 隅 田 典 代 |
| | 菅 野 弥 生 | | 藤 本 米 子 |

・欠席委員

| | |
|---------|---------|
| 高 松 克 志 | 富 岡 英 雄 |
| 山 根 好 子 | 茂 山 守 |
| 河 村 竜 太 | |

・事務局

| | |
|---------------------|-----------|
| 市民環境部長 | 藤 崎 昌 治 |
| 市民環境部理事 | 平 山 純 子 |
| 廃棄物対策課長 | 上 田 康 次 郎 |
| 環境保全センター施設課長 | 長 岡 哲 雄 |
| 環境保全センター施設課主幹 | 川 崎 一 利 |
| 総合戦略局地域エネルギー・ | |
| バイオマス産業都市推進グループリーダー | 濱 原 貴 宏 |
| 廃棄物対策課副課長 | 河 口 育 太 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主任 | 西 田 涼 子 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主任 | 齊 藤 和 幸 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係主任 | 落 合 有 |
| 廃棄物対策課ごみ減量推進係 | 大 田 翔 子 |

・資料

- 1-1 平成29年度総括表
- 1-2 平成29年度ごみ排出量の内訳表等
- 1-3 平成29年度の事業報告
- 1-4 ごみ焼却施設の長寿命化について
- 2-1 ごみダイエット大作戦！みんなで減らそう！1人1日100g
- 2-2 (古紙) 雑誌で出せる紙類が増えます

- 2-3 ごみ減量アイデアコンテスト、ごみ減量アイデアコンテストモデル事業
- 2-4 ごみ減量アイデアコンテスト 応募アイデア
- 3 宇部市一般廃棄物処理基本計画の改定について
- 4 食品リサイクルループの進捗状況について
- 5 【追加資料】会議における意見・質問等について

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 委員の紹介
- 3 会長、副会長の選出
- 4 会長、副会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 平成29年度の事業報告について
 - (2) ごみダイエット大作戦及び
ごみ減量アイデアコンテストモデル事業について
 - (3) 宇部市一般廃棄物処理基本計画の改定について
(許可範囲の見直しと許可の制限)
 - (4) 食品リサイクルループの進捗状況について
 - (5) その他

| | |
|-----|--|
| 会長 | <p>本日は審議をして何か方策を考えるというよりは現状を理解して頂いて次に繋げる会議だと思います。ただし、話を聞かれる中で何かできそうということも含めてアイデアを持って頂ければより有用な一日になると思います。それではまず「平成29年度の事業報告について」事務局から説明してください。</p> |
| 事務局 | <p>資料 1-1「平成29年度総括表」、資料 1-2「平成29年度ごみ排出量の内訳表等」、資料 1-3「平成29年度の事業報告」、資料 1-4「ごみ焼却施設の長寿命化について」により説明</p> |
| 会長 | <p>ごみの排出量に減少傾向が見られることはたいへん喜ばしいことだと思います。直搬ごみが今から減少が望めるものとは思いますが、平成33年度の計画目標を達成するため直搬ごみを減らすという計画がもし実現できたとしたら、燃やせるごみ(直搬)の23,768tという現状の値から8,000tぐらい減らないと目標が達成できていないということで、頑張って減らす努力をいろいろして頂いていますが、目標までかなり遠いということで、この数字を見て頂けると思います。</p> <p>実際やって頂いている事業に関してはごみ焼却場の搬入物の監視強化というのが昨年からは始まってさらに強化しているところということですが、これでどれだけ効果があがるのかというのは一つの大きなところですね。その他の部分に関しては、改善されているところはあると思いますが、続けてやっておられることが多くて、特に段ボールコンポスト普及促進に関して、この審議会では中々実行していくのがつらい</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>という意見が出ていたと思いますが、ちゃんと実行できれば家庭ごみをかなり減らすことができますが、この審議会の中では、何か別の手を打つ必要があるのではないかという話が出ていたところです。使用済小型家電リサイクルに関しては順調に増えていまして周知が進み回収が進んでいる様子が見受けられます。注意して頂きたいのが、資源物の回収、リサイクル率ですけれど、そもそも無駄な買い物をしないで、ごみを出さなければ、リサイクル率は低くても実際のごみは減るわけですから必ずしもリサイクル率が上がった下がったで一喜一憂できるものではないということも見ておいて頂きたいことだと思います。それでは各委員からご質問はございますか。</p> |
| 委員 | <p>前回の審議会の意見を見ると段ボールコンポストに関して「労多くして功なしだと思ふ。」ということが書かれています。私は町内で10人から15人くらいのグループで段ボールコンポストに取り組んでいるのですが、段ボールコンポストを使って生ごみを小さくして減らして行って堆肥化することを1人で黙々とするのは何か暗いイメージがしますが、私たちのグループでは各々が段ボールコンポストに取り組んで3ヶ月に一度みんなで集まって反省点ですとか、良かった点、悪かった点を話し合いながら、尚且つごみの問題を話し合うとか環境の問題に皆に気付いてもらうとかホームパーティみたいな感じで5～6年やっています。直接ごみの減量化に繋がらないかもしれませんが、それが広まると環境意識は高まっていくと思いますので、「労多くして功なしだと思ふ。」という言葉はなくなる気がします。</p> |
| 会長 | <p>何事もフィードバックが大切ということですね。いかにそれをやったら効果があるかとか、いろんな経験を持ちよる場を自分たちでうまく作れたらいいですが、それが出来ないところに対して何か手助けをする施策が打てればいいのかと思います。</p> |
| 委員 | <p>一つだけ行政で良かったと思ったことは、前はエコハ券というのがあって、はつらつポイントはもらえませんでした。環境に関する行動について、例えば段ボールコンポストをすることに対してはつらつポイントを付与しますというように変わりました。エコハ券からはつらつポイントに移行したということはすごく環境意識を高めるには良かったと思います。</p> |
| 会長 | <p>実は私も今週からもっと小綺麗に使えるコンポストをはじめました。2万円ぐらいしますが室内に置いて使えるもので、ハンドルを回すだけで攪拌することができます。市で補助制度があるのかと調べてみると下関市と山口市にはあるけど宇部市にはないということが分かりました。もし私がこれを使っていい経験が出来れば、また補助制度も検討して頂きたいと思いました。</p> |
| 事務局 | <p>コンポストにつきましては環境教育の入口であるということで、小学生を中心にごみの減量化を語る時に段ボールコンポストを実際にやってもらうと、実際に目に見えてごみが減っていくので非常に分かりやすいということで、今の世代はもちろん次の世代に繋いでいくときに、ごみの意識付けの入口として使えるツールだと思って</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>いますので、もちろん広めていくことも大事ですが、そういう使い方もしっかりやっていきたいと思えます。それと先程いろいろ数字を並べて説明しましたが中々ちょっと分かりづらいところもありますので、少しおさらいをさせていただきます。最初に私が1人1日あたりのごみ排出量の話をしました。それがどういう仕組みで出ているかというのは御理解頂けたと思えます。ここで少しご注意ください頂きたいのがリサイクルに回っている資源物も排出量としてカウントされます。ですからいろんなリサイクルの取り組みも進めていますけど、それを進めたとしても、もともとごみとして出てくるものを切り詰めていかないとごみの排出量は減っていかないというのが悩ましいところなんです。リサイクルで再資源化できますけどごみの排出量には影響しないというところもポイントとして、ごみの減量化を考えていく上では大事なことだと思えます。ごみが減ってきて直搬ごみも減りました。ただし、これは、不適物が搬入されないよう監視を強化したという要素もあり、そもそも一般の排出事業者からの排出量が減った訳ではないというところで、不適物のものは持ち込まないようにしていくことも大事ですけど今後は事業者に向けてどういうアプローチをしていくかということが大事になってきます。もちろんリサイクルをすれば燃やせるごみは減りますし不適物を減らしてもごみは減りますので、そういう意味では処理にかかるコストは下げられますから、引き続き十分にやっていく必要があると考えています。</p> |
| 会長 | <p>事業系一般廃棄物の削減の取り組みに関して、前回の会議で学生の卒業研究の結果を簡単にご紹介しました。事業所では旅館・飲食業、不動産業が非常にごみ排出量にプラスに寄与しています。これは統計的な話だから現実にそうだったということ調べてた訳ではないですが、統計的にはそういう結果が出ています。事業系一般廃棄物の資源化・減量化計画書の提出を依頼したり、事業所説明会を開催している中でそういう大口である可能性のある旅館・飲食業、不動産業に対してのアプローチを特に意識されていますでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>事業所の啓発ということで多量にごみを排出する事業所をピックアップして、事業系一般廃棄物の資源化・減量化計画書の提出を求めているところです。大きいスーパーや学校や工場は敷地面積の基準に従って出しています。特に紙ごみが多量に出るような金融機関ですとか、食品残渣が多量に出るとされる大きいホテルなんかも当然対象として計画書の提出を依頼していますが、それに加えて敷地面積の基準に関わらず、多量のごみが出るとされる場所につきましてはターゲットを絞って、旅館・飲食店等も含めて計画書の提出を依頼しているところです。</p> |
| 会長 | <p>それでちゃんと応じてくれていますか。</p> |
| 事務局 | <p>始めてから3年が経ちますが、最初の頃は計画書の書き方がわからないというところから開始しました。何度も市から啓発を行ったということもあります。新しい食品リサイクルについても今いろいろな取り組みを法律に従ってやられておられるところもありますけど、それが中々進まないところもありますので、市で進めている食品リサイクルループ構築の事業もありますので、それも併せて協力して頂くように市から啓発・指導、また協力をお願いという形で今行っているところです。</p> |

| | |
|-----|---|
| 会長 | 折角の研究結果がありますので、そういうものを活用してターゲットをある程度絞って頂ければありがたいと思います。それでは、「ごみダイエット大作戦及びごみ減量アイデアコンテストモデル事業」について説明をお願いします。 |
| 事務局 | 資料 2-1「ごみダイエット大作戦！みんなで減らそう！1人1日100g」、資料 2-2「(古紙)雑誌で出せる紙類が増えます」、資料 2-3「ごみ減量アイデアコンテスト、ごみ減量アイデアコンテストモデル事業」、資料 2-4「ごみ減量アイデアコンテスト応募アイデア」、資料 5【追加資料】「会議における意見・質問等について」により説明 |
| 会長 | これは新しいチャレンジということだと思いますが何かご質問ございますか。「みんなで減らそう1人1日100g」と非常に明確に出して頂いて数値目標としては分かり易いけど何をどれだけ減らせばいいかというのはお茶碗一杯のごはんが大体100gになりますということである程度の目安になると思います。燃やせるごみの内訳で生ごみは27%を占めます。ごみ全体の中では燃やせるごみは84%を占めていますので84%の中の27%が生ごみです。市民全員がコンポストで完全に生ごみを処理すれば平成33年度目標はらくらく達成できるんですね。全員が完全にやれば。それから水分が80%含まれているとすると絞るだけで目標にかなりせまるというか目標を達成できるレベルになる訳ですよ。まあそう思うと段ボールコンポストもちゃんと実行さえ出来れば捨てるものではないのかなということもありえる訳です。いかにすればちゃんとできるのかちゃんと考えれば効果のある施策になりえるところこの資料からよみとれると思います。 |
| 委員 | いいアイデアが出ていると思いますが、これを市民にどのような形で周知されていますか。環境衛生連合会が開催している講習会では、みんなに周知する形でやっていますが、それだけじゃなくて、いろんな所でこれを周知することが大切だとも思いますが、他に周知する方法は考えておられますか。 |
| 事務局 | 現状で言いますとアイデアについて市のホームページ上に応募されたアイデアの内容を掲載して市民周知を図っているところでございます。 |
| 事務局 | 補足ですが年度当初に一回、8月から9月にかけてもう一回、地域のいろんなまちづくりサークルであるとか婦人会とかいろんな集まりがある中で、それぞれの地域に応じて説明はさせて頂いています。ただそれでも不十分ということで、各地域の地域支援員がそういった集まりに出て来られない方も含めてチラシを持って行って説明をしています。それでもまだ不十分なところがございますので、地域の文化祭などの行事で環境衛生連合会の皆様からPRをお願いしたいと思っています。 |
| 会長 | 他にご質問等なければ、次に「宇部市一般廃棄物処理基本計画の改定について」事務局から説明をお願いします。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 資料3により説明 |
| 会長 | これは計画の改定ですから、ある程度実行性のある議論をお願いしたいと思います が、ご意見、ご質問はございますか。 |
| 委員 | ちょっと資料の文章がわかりにくいと思いますのが、家庭ごみについて家庭ごみの 変更後の文章についてどう理解すればいいのかと思いました。「ごみステーションに 出されるごみについては、現行どおり直営及び委託収集の体制を継続し」ですから、 ここは変更ないと思いますが「引っ越しなどによって発生する多量ごみや粗大ごみに ついては、直営及び許可業者での収集とします。」となっていて、ここはどう理 解すればいいのでしょうか。資料の説明のところに「事前予約制での直営収集を行っ てきました」とありますので、この度は事前予約とかではなくて、早急に対応できる よう手順が違ってくるといことなんでしょうか。 |
| 事務局 | 今ごみステーションに出されるごみにつきましては直営、委託業者での収集を行っ ておりますので、これについては引き続き継続して行うということでございます。ま た、引っ越しなどによって多量に発生する多量ごみや粗大ごみについては現行、直営 で電話予約での収集を行っていますが、中々引っ越しや片付けなどによって発生する 急な収集に対応できませんので、今は許可業者であっても家庭ごみを収集運搬するこ とはできませんが、この度許可業者に対してこういった家庭系ごみについての収集運 搬を行えるように許可の範囲を拡大したいということでございます。 |
| 会長 | この文章は改定後、誰が読むのですか。 |
| 事務局 | 一般廃棄物処理基本計画については市民に対して市が法律に基づいて計画を定め て、それに基づいて収集運搬や処理をしていくものになります。現状こういう計画で やっている部分を今度は家庭系ごみに対しても許可を拡大していくということでや り方を変えますので計画を改定していくということでございます。 |
| 会長 | 「宇部市一般廃棄物処理基本計画の改定について」という資料の文章の中で「現行 どおり」という言葉が使われるのはいいとは思いますが、ある決まりを書く文章の中 で「現行どおり」というある時点を想定した文章を書くことはふさわしくないと思 いますがどうでしょうか。 |
| 事務局 | たしかにおっしゃるとおり、じゃあ現行はなんなのかというのは非常に分かりにく いところだと思いますが、今の一般廃棄物処理基本計画の中の表現で「現行どおり」 という文言が既に使われておりまして、また新たに表現を変えると分かりづらくなる ということもありますので、対比できるように「現行どおり」というのは残したとい うところでございます。 |

| | |
|-----|--|
| 会長 | 今後の抜本的な改定の時には考えて頂きたいと思います。では、つづいて「食品リサイクルループの進捗状況について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 資料4により説明 |
| 会長 | 時間も遅くなってきておりますので、この件に関する議論も含めて委員の皆様全員にご発言頂きたいと思います。 |
| 委員 | 私は自治会長と連合会長をしています。最初に自治会で引き受けた役が環境部長でした。当時私の自治会は市でも一番ひどいと言われていましたが今はかなり改善されてきています。プラごみでも荒ごみでも毎回自治会の役員が出てごみを分けています。私も一緒に出ていってごみを分けています。私が一番気になるのは大手スーパーやコンビニのイベントで例えば恵方巻ですがあんなに作らないといけないのかと思います。恵方巻が大量に並べられて売られていますが本当にみんな買うのでしょうか。ああいう食品ロスの後でどう処理しているのか分かりませんがあまりにも無駄なことをしているのではないかと思います。 |
| 委員 | 審議会の回数を増やして、もっとこういうことを審議したらいいと思います。 |
| 委員 | いろんな話を聞いて段ボールコンポストやいろいろな啓発活動をしていることがわかりましたが、もちろんごみを減らすことを目標としていますと思いますが、ごみを減らしたらどうなるのかという部分があまり市民に伝わってないと私は感じました。そこはどうやって市民に伝えていくのか少し気になりました。 |
| 委員 | 私も段ボールコンポストを10年前くらいに1回やったことがあります。それは私の所属している団体に市の職員が来て説明を受けました。その時は、ほとんどの方がやってみようということで取り組んでみたのですが、紹介してもらえたらそういう団体が皆さんが取り組んでみようと思うことがあるかもしれませんので、そういう機会を増やしていけたらいいんじゃないかと思います。 |
| 委員 | 私は3期目で、今期で最後になりますが、前に「私はこの会議で発言をしない」とおっしゃった委員さんがいらっしゃいました。この会議は年に2回ですので意見が出ても次回の会議では話題が変わってしまいます。2時間ぐらいの時間をこの会議で潰して何の意味があるのかと思います。ペットボトルのラベルはがしの回覧が回ってきましたが、委員の私に事前に何の連絡もありませんでした。審議会の意味はあるのかと疑問に思いました。段ボールコンポストについても最初は市も力を入れていて私も説明会に参加してやってみました。私は成功しましたが、私の友人は失敗してウジ虫がわいてしまいました。ウジ虫がわいたコンポストを一度にごみステーションに出すことはできません。そのごみをどこに捨てればよいのか。そういうフォローがないと続かないと思います。ましてやこの世の中、浅漬けをする主婦がどれだけいるのでしょうか。数えるほどしかいないと思います。市役所の職員で段ボールコンポストをやっている人はほとんどいないでしょう。まずは市役所の職員が取り組むべきだと思います。 |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>小学校で段ボールコンポストに取り組んでいます。廃棄物対策課の方にとっても詳しく分かりやすく説明して頂いて、子供たちは全くごみに対して興味や関心はありませんけど、そういった話の中で自分たちでもできそうだなと思って、とても楽しく取り組んでいます。子供たちが3ヶ月ぐらいやるんですけど、がんばれる理由は、廃棄物対策課の方が2週間に1回ぐらい見に来て頂いて点数をつけてくれます。100点満点で。100点がもらえるようにとういうことで、ごみを小さくしてみたりとか、もっと水を絞ってみたりいろいろやりながらがんばっています。それは小学校で終わりますが、その評価をしてくださっている廃棄物対策課の方ではなくその評価が家庭で親であったり地域の方であったりすることで、子供たちも学校から出たところでごみダイエット大作戦に参加できるのではないかと今日の話聞きながら思いました。</p> |
| 委員 | <p>私たちのグループでは、まず食品ロスを少なくするということを目指しています。ごみの関係もエコ料理をしてまるごと野菜を食べるということと、生ごみを絞って水切りをするということですが、まずは濡らさないで、別々にごみをカゴの中に入れて野菜を全部食べる葉も皮もキレイに洗って食べる料理をして食べるというエコ料理のことを考えていますが、食べられない根っこなんかを出す場合はカゴなんかに入れて干してから出す。私なんかは家が田舎ですから畑に穴を掘って埋める、そうすると果物なんかは良く成ったりすると、ごみのおかげだと言ってよく笑うのですが、街中に住んでいる方はベランダで野菜の葉や皮なんかを乾かしてそれから出していくことをやっています。企業の見学に行ったら、賞味期限がまだあるのに大量に廃棄されていて、早く半額にして売りさばいたら、消費者も喜ぶし、食品ロスも少なくていいのにみんなが幸せになるんじゃないのと企業の方に言いました。食品ロスの本当にもったいないというのは主婦の立場から見まして主婦の小さなところから100gの減量をするというのも乾かして出すとかエコ料理とかいうところで頑張ればやれないことはないという思いはしています。</p> |
| 委員 | <p>子供の衣類だとかそれ以外でも今フリマアプリとかきつと活用されている方がたくさんいらっしゃると思いますので、そういったものも活用してということとはもっと打ち出してもいいのではないかと思います。宇部市がやっているリユース事業だけではなくそういった一般的なものもやればいいのではないかなと思っております。</p> |
| 委員 | <p>この会議に出席する前に市内の主要な3ホテルの責任者の方にごみの削減に何か取り組まれていることがあるかというお話をさせて頂きましたが残念ながら3つのホテルとも特別に今できていることはないという結果でした。特に業務用食品というのは非常に高騰している中でホテルとしても原価をきっちり守っていく運営をしていくことが非常に大事なことになりますが、そのために食品ロスを減らすことが利益に直結し、ごみが減ると業者さんにまかしている費用を下げることができるということで、両方とも整えば非常にいい運営になりますが、そういった方策がなかなかみつからないというところがございます。先ほど恵方巻とか催事ものについての意見がございましたが、ホテルとしては恵方巻とかうな重とかおせちとか季節の商品について</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>は完全予約受注制でありますので、処分することはないですけども相反して、いわゆるビュッフェスタイル、食べ放題というものをよく催事として行っております。これについては非常に矛盾がありまして原価はかかるごみは出るただ一番いいのは集客するには非常に有効な手段であるということで痛し痒しの部分でございます。こういった部分も含めてどのようにごみを減らしていくのかというのは、大量のごみを出している施設・事業所としては一生懸命考えていかないといけないと思いますので少しずつでも進めていければいいと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>先ほど恵方巻の話を受けました。確かにたくさんの食品ロスが実際でているのが現状です。こういう商売ですので、例えば昨年1,000本売れたとしたら今年の目標は1,100本、1,200本という数字になって参りますので、どうしても昨年以上の本数を作りあげて販売しなくちゃならない私どもの業界なんですけども、それが実際売れなければ食品ロスにつながってしまいますので、昨年どこかのスーパーさんが無駄な恵方巻は作らないというニュース報道があったとおり今後そういうところまでこちらも考えなければならぬだろうという部分は重々承知しておりますので本部にも話をあげて取り組んでいきたいと思っております。生ごみについてはコンポストではないのですが、リサイクルする機械があってそこに入れていって最終的に肥料にしていくようなお店で取り組めるようなところもあるので、実は宇部店でもそういう話が4～5年前にあったんですけども地元のごみを回収する業者さんとのタイアップがないと中々難しいところで話が進んでいないというのが現状なんですけども、もしそれが可能であれば、うちが出す生ごみというのは市にも直結しないといううちの企業で直接そういうことができるのでそういう今後も費用とかできる機会とかあれば進めていければなと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>生ごみが大きく占めているということで、私なんか忙しく仕事をしている者は丁寧に仕分けできない部分もあるかと思えます。それは意識の問題でもありますが、やはり税金がどれくらい生ごみを処理するのに使われるかという数値を、数値目標もいいですが実際私たちが毎日100gの生ごみを減らすと一年間どれだけ税金が少なくなる、使われなくていいという今から消費税も上がりますし皆さん税金には敏感になっておられると思うので市の財政のところで数字とお金をマッチさせるともう少し皆さんの目に見えるというかそちらに意識がいくのではないのかなとそこあたりを皆さんに計算してもらって回覧すれば少しは啓蒙できるのではないかなと思えました。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今回はじめて委員をさせて頂いています。私どもの大学は市のごみには直接関係してないのですかね、仕分けしてビニールごみと分けていたら学生にそんなことしなくても業者が持っていくから分ける必要がないんだと言われました。たくさんいる学生のアパートとかもそんなに仕分けしてやっていないということで、多分これは委託業者が集めているのかもしれない、市にとっては、ごみの計算にはならないのかもしれないのですが、日本全体で考えた時に、プラごみと生ごみを一緒にしているというこ</p> |

| | |
|-----|--|
| | とで宇部市のごみには関係ないかもしれないけど。ちっちゃい時から仕分けるとか教育をしていけば、ある学生は山口市だったんですけど、宇部市がしてない頃にビニールごみを分けたら、それをみんなが真似をするようになったということもあるので市のごみということであれば小学生から学校だけではダメなんですよ、やっぱりそれが家庭の方にいかないと、それと委託業者が市のごみの一人当たりの排出量の計算にならないから減るということだけじゃなくて・・・ |
| 会長 | それは直搬ごみになっていますので市のごみに計上されています。 |
| 委員 | そこのところも我々がやらないといけないのですかね。 |
| 会長 | 直搬ごみは減らさないといけない項目ですから。 |
| 委員 | そこで、もっとちゃんと仕分けをしないとけないんだと思いました。 |
| 副会長 | 私は2年ほどベトナムに行っていて日本に帰ってきてこんなにきちんとした分別をやっている世界に戻ってきたので非常に日本人はがんばっているなと思いました。それで先日アイデアコンテストにも参加させて頂きまして市民の皆様いろんな世代の方が楽しそうにご提案されているのを見まして頼もしい限りだなと思いました。特に若い人が面白いアイデアをどこかで見たようなアイデアかもしれませんけど、非常に啓蒙活動にはすごくいいのかと思いました。折角なので実践した後でアイデアを事業化するという事ですので事業化したことをさらに賞を取った方に来て頂いて政策にきちんと反映されているということとを本人とか提案して頂いた方に見せるとかできれば知らせて頂いて実感して頂きたいそれを市民にどのように還元するのかというのがあっていいと思いました。 |
| 会長 | ありがとうございました。最後に皆さんにお話し頂いた中で、いっぱいアイデアも含まれていたし、提案もあったと思います。まずこの会自体年2回では少ないのではないかと、年2回でやっていないことが自治会のほうでやってくるが一体この会はどういうものなのかという疑問もあったし、テーマを絞って議論してはどうかという意見も出ましたし、啓発活動の中でごみを減らしたらどうなるのかが伝わっていない税金がどれだけ投入されているかという数値を出して欲しいということもありましたし、同じように効果がわかるようにしてほしいということにつながっていくのだろうと思います。段ボールコンポストのアフターケアをしっかりとしてほしいということや、まず市職員で手本を見せて欲しいというのはもっともな意見だと思います。後、小学校の環境学習で取り組んでいる段ボールコンポストについて市職員が採点してもらっていることが励みになっているこれについて地域の方が参加できるのではないかと、またフリマアプリを使ったら効果が上がるのではないかとごみの回収業者と事業者のタイアップがうまくすすまないこれは市で力を貸すことができるのではないかとということもありますし、また今回事業者の側からも悩みなどを聞くことができまし |

| | |
|-----|--|
| | <p>た。実を言うと中々事業者の方から意見を聞くことが出来ませんでした。そういった意味でも非常に有意義な会だったと思います。次回はこれに対する市の対応を含めた形で盛り込んで頂いて、我々委員にとって話し合ったことに意味があったと思えるような会にして頂きたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>どうもありがとうございました。今いろいろご意見頂いた中でいくつもありましたので、後ほど私からお答えする部分と今日お答えできない部分についてはこの会議が終わってなるべく早い段階で皆様にお返しするという事をお約束したいと思えます。審議会の回数を多少増やしていったらどうか、またテーマを絞ってより中身の濃い議論が出来ないかということがご意見としてあったと思います。審議会の開催について今年度増やせるかどうか検討しますし、来年度の予算要求についても回数を増やす方向で考えていきたいと思えます。今回平成29年度の事業報告ということで報告が長かったと思えますが次回いろいろご意見頂いたことを踏まえて次回のテーマ設定をして少し絞り込んでいった議論ができるようにしていきたいと思えます。もう一点ごみを減らしていったらどうなるのか市民にとって何がメリットになるのかというのは大変貴重なご意見だったと思えます。途中でご説明も頂きましたけれども、やはり金額的なものがございまして。それともう一つは、どうしても燃やしていったら残渣がでる、あるいは不燃ごみでも残渣が出るということで、その中で埋立ての方に持って行く埋め立ての土地があるそうするとその処分場が一杯になったらどうするか次また処分場を作ってそこに持っていかないといけないそのための費用がさらにかかるといったようなことも含めてお金とセットで見ると市民にとっては非常に分かり易い自分の税金がどういう風につかわれているのかというのは非常に関心が高いと思えますのでお示しできるように今年度の説明会の中でも取り入れていきたいと思えます。その他もいろいろ頂きましたけど、それについてはまとめてまたご回答差し上げるような形で進めていきたいと思えます。</p> |
| 事務局 | <p>委員の皆様、本日は長時間にわたるご審議、また貴重なご意見たくさん頂きましてありがとうございました。次回もまたよろしくお願ひします。以上をもってすべての日程を終了させて頂きます。</p> |